

(四国地方整備局からのメッセージ)

◆◆◆四国地方整備局トピック 2019. 8. 9◆◆◆

【 四国地方整備局 用地部長 大高 茂則 】

本年4月1日付けで用地部長を拝命しました、大高と申します。よろしくお願いたします。

登記簿などを調べても所有者が判明しないか、連絡がつかない土地、いわゆる「所有者不明土地」の利用の円滑化を図るため、昨年6月に所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法が成立し、本年6月1日に全面施行されました。この法の円滑な施行のため、四国地方整備局(用地部及び建政部)、四国各県、法務省高松法務局などで構成する「四国地区所有者不明土地連携協議会」を本年2月7日に設立し、今年度より所有者不明土地についての情報共有や市町村への用地業務のノウハウの提供など市町村を支援することとなりました。

この活動の一つに「よろず相談会」があります。この相談会は市町村の用地事務担当者を対象に、四国地方整備局用地部と各県の職員が所有者不明土地や用地取得に関する事務についての相談に応じるとともに、市町村の支援ニーズを把握することを目的としたものです。開催にあたっては、四国管内を10のブロックに分け毎年7月又は9月に職員が現地へ赴き行うもので、初回の相談会は去る7月18日から30日にかけて5つのブロックで開催しました。

今回の相談会では19市町村の担当者が訪れ、用地取得事務にあたっての1. 共有地の処理に関する事、2. 代替地三者契約に関する事、3. 多数相続の進め方に関する事など、市町村の組織体制において用地担当部署がないことなどから生じる用地事務の考え方や処理方法、所有者不明土地の所有者探索方法などの幅広い相談内容に応じるとともに、用地事務や所有者不明土地に関しての状況把握を行いました。

次回の相談会は9月9日から27日にかけて残り5つのブロックで開催いたします。また、10月17日には所有者不明土地問題等に関する講演会を高松市にて開催いたしますので、多くの皆様のご出席をお待ちしております。なお、所有者不明土地問題等につきまして、何かございましたらご遠慮なく用地部用地企画課支援係までご連絡ください。

目次

- 国営讃岐まんのう公園「サマーフェスタ」開催中！！ 香川河川国道事務所
- 全国水辺風景創造プロジェクト「水辺で乾杯2019」 河川部
- 8月は「道路ふれあい月間」です。8月10日は「道の日です」 道路部路政課・道路管理課
- 事務所だより 高松港湾・空港整備事務所

国営讃岐まんのう公園「サマーフェスタ」開催中

【 香川河川国道事務所 】

国営讃岐まんのう公園では、7月20日(土)から9月1日(日)まで「サマーフェスタ」を開催中です。

今年は、7品種7万本のヒマワリ(7月下旬～8月中旬)、夏から秋にかけて葉色が緑葉から真っ赤に紅葉する4千本のコキアがご覧いただけます。ヒマワリは、まんのう町特産「ひまわりオイル」の材料となっている品種のヒマワリも登場します。

期間中は、カブト虫やクワガタを観察できる「カブト虫ランドwithクワガタ」(7/20～8/13)、森の中を探検しながら虫や花のアート作品を見つける「発見! アートな生きもの巡り」等を実施します。

また、暑い日には「ドラ夢の泉広場」がおすすめです。水深が浅いので、小さなお子様でも安心して水遊びが楽しめ、夏ならではのまんのう公園を満喫することができます。

また、8月10日(土)～13日(火)の4日間は開園時間を夜8時半まで延長し、「サマーナイトフェスティバル」を開催します。四国八十八景に選出された「昇竜の滝」のライトアップやイルミネーションで園内を彩るとともに、音楽に合わせて次々と打ち上がる大迫力の「光と音の花火ショー」(8/11・12)を実施し、真夏の夜の公園を楽しむことができます。さらに、大道芸やマジックなど子どもから大人まで楽しめるパフォーマンスショー(8/11・12)の他、オリジナルの提灯づくり・風鈴づくりのクラフト体験(8/10・13)なども開催します。

暑い日が続く中、水分補給など熱中症対策を万全にして、ぜひ当園へお越しください。

※季節の花情報やイベント情報については、国営讃岐まんのう公園ホームページでご確認ください。

【ホームページ】<https://sanukimannoupark.jp/>

全国水辺風景創造プロジェクト「水辺で乾杯2019」

【 河川部 】

水辺の未来を考える人たちが出会えば、たくさんのアイデアとアクションが生まれ、水辺から新しい街づくりが始まる。

国土交通省では「ミズベリング・プロジェクト」の一環として、市民、企業、行政がひとつになって水辺の未来に向かって、共に動き出すためのプロジェクトの取り組みを推進しています。

今年で5回目を迎えた「水辺で乾杯2019」を7月7日の川の日をはさんだ、7月5日～8日の期間で実施しました。

このイベントは全国各地で水辺に集まり、水辺の風景に賑わいを与え、ふだんの何気ない日常を「とっておきなプレミアム時間」に変えて、全国のみんなで同時共有するプロジェクトです。

四国においても各地で趣向をこらした「乾杯!」が行われ、高松市サンポートでは、「スラックライン(幅5cm、長さ20m程度のライン上でバランス感覚や集中力などを競うスポーツ)」をしながら、こちよい汗を滲ませながら乾杯しました。このほか新

町川（徳島県）では、「藍染めのもの」を身につけて集まった新町川を愛する仲間達と一緒に乾杯をするなど、四国9箇所で行われ、約300人の参加者となりました。
今後も水辺に対する社会の関心を高めるため、様々なイベントに積極的に取り組んでいく予定です。

※同日行われた全国各地の乾杯や過去の乾杯については、こちらのウェブページでご確認できます。

<https://mizbedekanpai.mizbering.jp/>

8月は「道路ふれあい月間」です。8月10日は「道の日」です

【 道路部路政課・道路管理課 】

国土交通省では、「道路ふれあい月間」（8月）の行事の一環として、改めて道路の役割・重要性について考えていただくことを目的に、広く一般から本月間における取組を推進する標語を募集しています。

令和元年度は全国から4,704作品の応募があり、本作品が代表標語に選定されました。

《 この道は 世界につづく ゆめとびら 》

※愛媛県在住の中学生の作品が、最優秀賞（中学生の部）を受賞しました。

《 真っ白な 地図に描こう マイロード 》
西川 結菜 さん （愛媛県 松山市立東中学校）

「道路ふれあい月間」について

「道路ふれあい月間（平成13年度より「道路をまもる月間」から名称変更）」は、8月1日から8月31日までの1箇月間、道路を利用している国民の方々に改めて道路とふれあい、道路の役割及び重要性を再認識していただき、さらには道路をいつくしむという道路愛護活動の推進及び道路の正しい利用の啓発を図り、道路を常に広く、美しく、安全に利用する気運を高めることを目的として、国土交通省が中心になり、昭和33年より毎年実施されています。

道路管理者は、当月間において、より多くの方々が道路の役割及び重要性を十分理解し、自主的かつ積極的に各種運動に参画していただけるよう努めることとしています。

「道の日」について

道路は、国民経済を支え、国民生活を維持するために欠くことのできない基本的な社会資本施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その重要性が見過ごされがちです。そこで、道路の意義・重要性について、国民の皆様に関心をもつていただくことを目的として、昭和61年に8月10日を「道の日」に選定しました。

8月10日を選定した理由は、大正9年8月10日に、我が国で最初の道路整備についての長期計画である第1次道路改良計画が実施されたことと、8月1日～31日が「道路をまもる月間（現在の「道路ふれあい月間」）」の期間中であったこと、などによります。

[港や海岸の清掃活動に参加しています]

夏は海水浴やビーチスポーツと、海に接する機会が多くなります。当所では休日に有志が集まり、香川県内の港湾や海岸で開催されている清掃活動に参加しています。「リフレッシュ瀬戸内」活動は、「美しい瀬戸内海を守っていく」ことを目的として、毎年、瀬戸内海の各地で開催されている清掃活動です。当所職員が参加した田の浦海岸(東かがわ市)、沙弥島(坂出市)及び丸亀港(丸亀市)では、地域の方々と共同で海藻類、空き缶及びプラスチック容器等を回収することが出来ました。

[坂出ニューポートプラン]

6月25日、坂出ニューポートプラン検討会議を開催致しました。この検討会議は、坂出港の競争力を向上させるとともに、地域住民の憩いの場として利用しやすい港づくり等を推進するために、坂出港が今後10年間に取り組むべき方向性を「坂出ニューポートプラン」として取りまとめる目的で開催しています。4回目となる今回の検討会議において、プランを取りまとめました。今後は官民の協力体制を築き様々な活動を進めるとともに、必要に応じて坂出ニューポートプランの見直しを行う予定です。

[1日で1,800人超の見学者が海洋環境整備船「美讃」の一般公開に参加]

7月15日の海の日、サンポート高松において当所と高松港湾空港技術調査事務所は、海洋環境整備船「美讃」の一般公開と「津波・高潮」に関するパネル展示を共同で開催致しました。

「美讃」の一般公開では、1,800人を超える方々に海上で漂流物を回収する「美讃」の仕組み等を見学頂きました。テントブースで開催した港についてのクイズや船員服を着用した写真撮影にも多くの方々に参加頂きました。また、「津波・高潮」に関するパネル展示では、国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所で撮影された実験映像を用いて、津波や高潮に対する説明を分かり易く行いました。

見学頂いた方からは、「こんな船があるのを知らなかった」、「動いているところも見たい」といった意見や「以前、テレビで見た」、「美讃知っています」といった意見を頂きました。引き続き、関係各所と連携して「美讃」の役割等について理解を深めていただけるよう取り組んでいきたいと考えています。

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

四国地方整備局Facebook

<https://www.facebook.com/shikokuchisei/>

自治体担当者様におかれましては、首長ご本人への転送とあわせて、職員の方への

周知もお願いいたします。

「いきいき四国通信」に関するご意見、配信中止・配信先変更のご希望等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

国土交通省 四国地方整備局 企画部 「いきいき四国通信」事務局

mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp
